広報おうしゅう
Vol.103 2014 9
□発行日／9月11日　□発行／奥州市　〒023－8501 奥州市水沢区大手町1－1　□電話／0197－24－2111　□編集／総務企画部政策企画課　□印刷／鈴木印刷㈱

Oshu Heritage

奥州遺産 No.48

～ときを越え 受け継がれるもの～

愛村公園

＝江刺区愛宕字八日市＝

1鮮やかな緑に囲まれた愛村公園。初夏を迎える季節には、色とりどりのツツジが咲き乱れる。奥の建物は「旧農業試験場県南分場」　2「江刺金札米の父」といわれる懐徳氏の銅像。公園の中央に設置されている

江刺自動車学校から北東へ300㍍ほど進むと、道路沿いに木々の緑豊かな一角がある。県農業試験場県南分場跡の片隅にある愛村公園。この公園は、江刺金札米（陸羽132号）の普及功労者、小澤懐徳氏の功績を讃えるため、昭和33年に設置された。

明治6年に胆沢郡古城村（現・前沢区古城）で生まれた懐徳氏は、明治25年、養子として江刺郡愛宕村（現・江刺区愛宕）に移り住んだ。時がたち、大正8年に愛宕村長となった懐徳氏は、江刺郡農会長に就任し、地元で生産される米の品質向上のために奔走。新品種を導入し、地域にその栽培を幅広く普及することで、東京精米市場で最高格付けと最高値を得た。これがのちの江刺金札米へと発展を遂げる。

実りの秋を迎えたこの季節。公園に鎮座する懐徳氏は、首を垂らす金札米の稲穂を今も変わらず見守っている。

広告

VEGETABLE OIL INK
※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約 33 円です。】